

平成 27 年 11 月 22 日 (日) 施行

## 第 180 回 全経簿記能力検定試験 1 級 会計 解説

### 第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 二
2. 企業会計原則 第二 損益計算書原則 一 A

### 第 2 問

1. 現金過不足処理時の仕訳

(借) 現金過不足	66,800	(貸) 現金	66,800
-----------	--------	--------	--------

- (1) プリンタートナー金額誤記入の訂正

(借) 消耗品費	10,000	(貸) 現金過不足	10,000
----------	--------	-----------	--------

- (2) 買掛金支払の誤記入の訂正

(借) 買掛金	56,800	(貸) 現金過不足	56,800
---------	--------	-----------	--------

2. 荷為替の引き受け分 ¥340,000 は支払手形で処理する。
3. 源泉所得税 ¥86,400 と社会保険料 (従業員負担分) ¥92,000 → 預り金 ¥178,400  
社会保険料の企業負担分 ¥92,000 → 法定福利費
4. 改修の結果、耐用年数が延長した場合には、耐用年数延長分を資本的支出、それ以外の部分を収益的支出として処理する。

改修費 ¥2,400,000、残存耐用年数 14 年 → 20 年 (6 年延長) より、

建物 ¥2,400,000 × (6 年 / 20 年) = ¥720,000

修繕費 ¥2,400,000 × (14 年 / 20 年) = ¥1,680,000

5. 社債の発行価額は ¥300,000,000 × (¥98.20 / ¥100) = ¥294,600,000  
5 年経過後の償却額は (¥300,000,000 - ¥294,600,000) / 5 年 × 3 年 = ¥3,240,000  
よって償還時の帳簿価額は ¥294,600,000 + ¥3,240,000 = ¥297,840,000  
尚、償還したのは ¥80,000,000 (30 分の 8) なので、償還分の帳簿価額は ¥79,424,000  
買入額は ¥80,000,000 × (¥99.20 / ¥100) = ¥79,360,000  
よって社債償還益は ¥79,424,000 - ¥79,360,000 = ¥64,000
6. 売掛金は前期決算日の為替レート (\$1 = ¥103) で換算しているので、  
\$15,000 × ¥103 = ¥1,545,000  
振り込みは本日のレート (\$1 = ¥124) で、\$15,000 × ¥124 = ¥1,860,000  
為替差益 ¥1,860,000 - ¥1,545,000 = ¥3,150,000

### 第3問

【問1】 営業収入

売 上		→	売 掛 金	
	売 上 435,400		期 首 74,600	回 収 444,900
		売 上 435,400	期 末 65,100	

【問2】 仕入支出

買 掛 金		←	商 品	
支 払 283,400	期 首 26,200		期 首 31,500	売上原価 283,200
期 末 28,300	仕 入 285,500	仕 入 285,500	期 末 33,800	

### 第4問

(1)未達事項

①	(借) 本店仕入	180,000	(貸) 本店	180,000
②	(借) 交通費	33,000	(貸) 本店	33,000
③	(借) 支店	51,000	(貸) 売掛金	51,000

支 店		本 店	
※7,142,000	7,193,000	7,193,000	※6,980,000
51,000		180,000	33,000

※残高試算表より

以上より、本店勘定・支店勘定の一致する金額は¥7,193,000

(2)貸借対照表上の商品

支店商品の内部利益控除後の金額は $¥492,000 \times (1/1.2) = ¥410,000$

同じく未達分は $¥180,000 \times (1/1.2) = ¥150,000$

よって期末商品棚卸高は

本店 $¥1,340,000$  + 支店 $¥410,000$  + 支店未達分 $¥150,000 = ¥1,900,000$

(3)売上原価の金額

支店の期首繰越商品は内部利益を控除して $¥504,000 \times (1/1.2) = ¥420,000$

また、支店は商品のすべてを本店から仕入れているので、以下の通りとなる。

期首商品	¥1,250,000	売上原価	¥12,340,000
	¥420,000		
当期仕入高	¥12,570,000	期末商品	¥1,900,000

よって売上原価は $(¥1,250,000 + ¥420,000) + ¥12,570,000 - ¥1,900,000 = \underline{¥12,340,000}$

## 第5問

### 〔資料2〕 検討事項

#### 1. 未渡小切手

(借) 当座預金	400	(貸) 未払金	400
----------	-----	---------	-----

#### 株主配当金領収証の処理

(借) 現金	140	(貸) 受取配当金	140
--------	-----	-----------	-----

#### 2. 仮払金の処理

(借) 仮払法人税等	7,400	(貸) 仮払金	25,700
仮払消費税	17,000		
退職給付引当金	1,300		

#### 3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	38,250	(貸) 前受金	250
		仮受消費税	26,000
		資本金	6,000
		資本準備金	6,000

#### 4. 消費税

(借) 仮受消費税	26,000	(貸) 仮払消費税	17,000
		未払消費税	9,000

#### 5. 仕入割引は仕入勘定から控除するのではなく、仕入割引勘定（営業外収益）で処理する。

(借) 仕入	800	(貸) 仕入割引	800
--------	-----	----------	-----

### 〔資料3〕 決算整理事項

#### 1. 受取手形+売掛金の期末残高は 8,200 千円+48,000 千円=¥56,200

貸倒引当金は 56,200 千円×1.5%=843 千円

残高試算表の貸倒引当金残高は 590 千円なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	253	(貸) 貸倒引当金	253
-------------	-----	-----------	-----

#### 2. 売買目的有価証券の評価替え

上野会社株式 (4.45 千円-3.20 千円) × 1,200 株 = 1,500 千円

日暮里会社株式 (5.10 千円-5.25 千円) × 800 株 = △120 千円

(借) 有価証券	1,380	(貸) 有価証券評価益	1,380
----------	-------	-------------	-------

#### 3. 期末商品の評価

@8.50 千円

@8.88 千円

商品評価損なし	棚卸減耗費
a 商品	

2,380 個    2,400 個

商品評価損

正味売却価額 > 取得原価 ⇒ 商品評価損なし

棚卸減耗費

@8.50 千円 × (2,400 個 - 2,380 個) = 170 千円

@6.65 千円

@6.05 千円

商品評価損	棚卸減耗費
b 商品	

1,180 個    1,200 個

商品評価損

(@6.65 千円 - @6.05 千円) × 1,180 個 = 708 千円

棚卸減耗費

@6.65 千円 × (1,200 個 - 1,180 個) = 133 千円

帳簿棚卸商品

a 商品 8.50 千円×2,400 個=20,400 千円  
 b 商品 6.65 千円×1,200 個=7,980 千円  
 棚卸減耗費…170 千円+133 千円=303 千円  
 商品評価損…708 千円

} 28,380 千円

(借) 仕 入	24,800	(貸) 繰越商品	24,800
繰越商品	28,380	仕 入	28,380
棚卸減耗費	303	繰越商品	303
商品評価損	708	繰越商品	708

4. 減価償却

建物 (定額法) 残存価格ゼロ

$(89,600 \text{ 千円} - 0 \text{ 円}) / 40 \text{ 年} = 2,240 \text{ 千円}$

(借) 減価償却費	2,240	(貸) 建物減価償却累計額	2,240
-----------	-------	---------------	-------

備品のうち 4,000 千円は当期に取得したものであるから、新備品 4,000 千円、旧備品 29,000 千円

【新備品】(定率法) 償却率 0.250 当期の使用は 3 ヶ月 (10~12 月)

$4,000 \text{ 千円} \times 0.250 \times (3 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 250 \text{ 千円}$

(借) 減価償却費	250	(貸) 備品減価償却累計額	250
-----------	-----	---------------	-----

【旧備品】(定率法) 償却率 0.250

残高試算表の備品減価償却累計額は旧備品に関するものである。

$(29,000 \text{ 千円} - 13,400 \text{ 円}) \times 0.250 = 3,900 \text{ 千円}$

(借) 減価償却費	3,900	(貸) 備品減価償却累計額	3,900
-----------	-------	---------------	-------

5. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	1,000	(貸) 退職給付引当金	1,000
------------	-------	-------------	-------

※決算整理前残高 13,000 千円 当期繰入額 1,000 千円 退職一時金の支払 1,300 千円 より

貸借対照表負債の部 退職給付引当金の額:  $13,000 \text{ 千円} + 1,000 \text{ 千円} - 1,300 \text{ 千円} = 12,700 \text{ 千円}$

6. 長期借入金 40,000 千円のうち 8,000 千円は解答欄の貸借対照表 (貸方) の勘定科目より、1 年以内返済長期借入金に振り替える。

(借) 長期借入金	8,000	(貸) 1年以内返済長期借入金	8,000
-----------	-------	-----------------	-------

また、借入から決算日までは 6 ヶ月経過しているため、当期の利息は

$40,000 \text{ 千円} \times 2.0\% \times (6 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 400 \text{ 千円}$

(借) 支払利息	400	(貸) 未払費用	400
----------	-----	----------	-----

7. 支払家賃 3 ヶ月分は未経過期間に関するものなので

$560 \text{ 千円} \times 3 \text{ ヶ月} = 1,680 \text{ 千円}$  は前払家賃に振り替える。

(借) 前払家賃	1,680	(貸) 支払家賃	1,680
----------	-------	----------	-------

8. 法人税の計上

仮払法人税等が 7,400 千円あるので

(借) 法人税等	12,500	(貸) 未払法人税等	5,100
		仮払法人税等	7,400